

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0004
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年12月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F陸側遮水壁周辺表層対策工事(H31)								
	発生場所	2.5m盤エリア				2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14		
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率		
	1.	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2.						m ³			
3.						m ³				
4.						m ³				
5.						m ³				

線量測定内容			
測定日	2019年12月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/10 8:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0018

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F陸側遮水壁周辺表層対策工事(H31)								
	発生場所	2.5m盤エリア					2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0005
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年12月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/10 8:45	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類		02	プラスチック・ポリ・ビニール類		03	木材類		04	可燃物その他		05	—	
				06	—		07	—		08	—		09	—		10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ		02	コンクリートガラ		03	機器類・制御盤類		04	土砂類		05	塩化ビニール類	
				06	保温材		07	石綿含有物		08	ケーブル類		09	アスファルトガラ		10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体		12	フランジタンク付属品		13	石綿含有物(はつり屑等)		14	—		15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類		02	難燃シート類		03	ホース類		04	難燃物その他		05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)		02	伐採木(枝・葉)		03	—		04	—		05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有			③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F陸側遮水壁周辺表層対策工事(H31)								
	発生場所	2.5m盤エリア					2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-IOWBL-04
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0006
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年12月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ⑪	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/10 9:25	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0020

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月11日		(水)	8:00	承認	審査	作成												
	作業件名	純水タンク周辺整備工事																		
	発生場所	2.5m盤エリア				2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14												
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL													
	元請会社				担当者		TEL													
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	アスファルトガラ	B						09	D	A	5	m ³	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	無	
		2											m ³							
		3											m ³							
		4											m ³							
5						m ³														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0007
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年12月11日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/11 8:05	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						
				④	燃焼履歴	A:「燃焼履歴なし」、B:「燃焼履歴あり」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013111 - 0020		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月11日		(水)	9:00		承認	審査	作成			
	作業件名	純水タンク周辺整備工事										
	発生場所	2.5m盤エリア						2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14		
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ α 汚染の有無	β ・ γ 線量率
1	アスファルトガラ		B	09	D	A	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
2							m ³					
3							m ³					
4							m ³					
5							m ³					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0008
				2019/11/14
調整後保管日時		2019年12月11日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこ。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β ・ γ 線量率欄に「 β ・ γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β ・ γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 8013111 - 0020		
作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月11日		(水)	10:00		承認	審査	作成	固体廃棄物管理G記入欄 受付 受付番号 2019/11/14		
	作業件名	純水タンク周辺整備工事									廃2019 - 12 - 0009 調整後保管日時 2019年12月11日 10:00 【保管時の指示事項等】	
	発生場所	2.5m盤エリア						2019/11/14	2019/11/14	2019/11/14		
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	2						m ³					
3						m ³						
4						m ³						
5						m ³						
線量測定内容 測定日 2019年12月11日 測定No. 氏名 測定器 管理番号 1 氏名 ICWBL F1-ICWBL-6 2 3 4												
保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/11 9:45	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 -	
			06 -	07 -	08 -	09 -	10 -	
			B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			C 難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 -	15 -
D 伐採木	01 ゴム類	02 難燃シート類		03 ホース類	04 難燃物その他	05 -		
		01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 -	04 -	05 -		
	② 状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0020

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	8:00		承認	審査	作成
	作業件名	純水タンク周辺整備工事							
	発生場所	2.5m盤エリア						2019/11/18	2019/11/18
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号
							T-ICWBL-04		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0013
				2019/11/18
調整後保管日時		2019年12月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/13 8:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0020

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0014
				2019/11/18
調整後保管日時		2019年12月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	純水タンク周辺整備工事								
	発生場所	2.5m盤エリア					2019/11/18	2019/11/18	2019/11/18	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
4						m ³				
5						m ³				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/13 8:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フレンジタンク本体	12	フレンジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0020

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0015
				2019/11/18
調整後保管日時		2019年12月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	純水タンク周辺整備工事									
	発生場所	2.5m盤エリア						2019/11/18	2019/11/18	2019/11/18	
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/11	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m ²				
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/13 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用ノ減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015501 - 0019			
作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年12月9日		(月)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名		5, 6T RO取水ポンプ他設置工事										
	発生場所		Fエリア						2019/11/21	2019/11/21	2019/11/21		
	作業主管G		機械グループ				監理員	TEL					
	元請会社						担当者	TEL					
	線量測定年月日		2019/11/14		測定者			測定器名	ICW		管理番号 F1-ICW-090		
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1		保温材(エアロフレックス)			B 06 D A 1 m ²		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無	
	2		金属ガラ(番線等)			B 01 W A 0.1 m ²		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無	
	3		不燃シート			B 10 D A 0.1 m ²		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		無	
4													
5													
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	12	—	0056	2019/11/21
調整後保管日時		2019年12月9日		10:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2019年12月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-118
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		保温材(エアロフレックス) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/9 10:00	1 m ²			1
2	1		金属ガラ(番線等) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/9 10:00	0.01 m ²			1
3	1		不燃シート ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/9 10:00	0.05 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不 燃 物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
C	難 燃 物	11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —		16 —			
		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		06 —			
D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		06 —			
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		06 —			
②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012903 - 0073

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	北側エリア仮設高圧変圧器盤除却工事								
	発生場所	1F構内					2019/11/21	2019/11/21	2019/11/21	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/10/31	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-90	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	グリーントラフ	C	04	D	A	4 m ²	3 μSv/h	8 μSv/h	無	
2	ケーブル	B	08	D	A	3 m ²	3 μSv/h	8 μSv/h	無	
3	基礎ブロック	B	10	D	A	1 m ²	3 μSv/h	5 μSv/h	無	
4	ケーブルジョイントBOX	B	01	D	A	2 m ²	3 μSv/h	5 μSv/h	無	
5						m ²				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0057
				2019/11/22
調整後保管日時		2019年12月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-6
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	グリーントラフ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/13 11:00	2 m ²			1
	2	1	ケーブル①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/13 10:30	2 m ²			2
	3	1	基礎ブロック②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/13 10:30	1 m ²			2
	4	1	ケーブルジョイントBOX①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/13 10:30	2 m ²			2
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月9日	(月)	8:30	承認	審査	作成													
	作業件名	建築水対策工事																		
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋 (GI-22)			2019/11/22	2019/11/22	2019/11/22													
	作業主管 G	建築水対策グループ		監理員		TEL														
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2019/11/21	測定者		測定器名	ICW	管理番号													
							F1-ICW-282													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	不燃・金属ガラ	B						01	D	A	10	m ³	0.05	mSv/h	0.05	mSv/h	無	
		2											m ³							
		3											m ³							
		4											m ³							
5						m ³														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0059
				2019/11/22
調整後保管日時		2019年12月9日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-118
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/9 8:50	4 m ³			1
	1	2	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/9 9:25	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月9日	(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	建築水対策工事								
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋 (GI-22)			2019/11/22	2019/11/22	2019/11/22			
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/11/21	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-282			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
1	不燃・金属ガラ	B	01	D	A	10 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0060
				2019/11/22
調整後保管日時		2019年12月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-118	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/9 10:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月9日		(月)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機Rw/B屋上部ガレキ撤去業務委託								
	発生場所	3号機Rw/B上部					2019/11/22	2019/11/22	2019/11/22	
	作業主管G	3号機建築グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-97		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	トンパック(軽石)	B	10	D	A	6 m ²	0.008 mSv/h	0.07 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ・トンパック内は軽石が入っている。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0063
				2019/11/22
調整後保管日時		2019年12月9日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	トンパック(軽石) ②	5 μ Sv/h	8 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/9 8:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013203 - 0017	
作 業 主 管 G	保管希望日時	2019年12月11日		(水)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	サブドレン除鉄装置設置工事									
	発生場所	4号機R/B西側					2019/11/25	2019/11/22	2019/11/22		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
記 入 欄	線量測定年月日	2019/11/11		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-127
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	① ② ③										
	1	塩化ビニール類			2 m ²	0.5 μSv/h	0.5 μSv/h	無			
	2	保温材			3 m ²	0.5 μSv/h	0.5 μSv/h	無			
メ モ	3				m ²						
	4				m ²						
	5				m ²						
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0087
				2019/11/25
調整後保管日時		2019年12月11日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-126	
2		ICWBL	F1-ICWBL-6	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/11 10:40	0.5 m ²			1
	2	1	保温材 ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/11 10:40	3 m ²			2
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028		
保 管 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月9日		(月)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2テント						2019/11/25	2019/11/25	2019/11/25		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/11/15	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-6		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率			
	1	6m3コンテナ(2019 NS-00318)	A	02	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.012 mSv/h	β 有	0.12 mSv/h	
	2	6m3コンテナ(2019 NS-00322)	B	02	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	0.01 mSv/h	
3						m ³						
4						m ³						
5						m ³						
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	12	—	0097	2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月9日		8:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2019年12月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(NS-00318)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/9 9:05	6 m ³		NS-00318	1	
2	1	6m3コンテナ(NS-00322)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/9 9:05	6 m ³		NS-00322	1	
								m ³				
								m ³				
								m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028	
保 管 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年12月9日		(月)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名		G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所		フランジタンク解体部材一時保管施設2テント						2019/11/25	2019/11/25	2019/11/25
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社						担当者		TEL		
	線量測定年月日		2019/11/19		測定者			測定器名	ICWBL		
								管理番号	F1-ICWBL-115		
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	
	1		6m3コンテナ(2019 NS-00287)			B 04 D B		6 m ³		0.002 mSv/h	
2		6m3コンテナ(2019 NS-00314)			B 04 D B		6 m ³		0.002 mSv/h		
3							m ³				
4							m ³				
5							m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0098
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(NS-00287)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/9 9:30	6 m ³		NS-00287	1
	2	1	6m3コンテナ(NS-00314)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/9 9:30	6 m ³		NS-00314	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
①	B 不燃物	C 難燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
②	D 伐採木	E 状態	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月9日	(月)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	建築水対策工事								
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋 (GI-22)			2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26			
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/25	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-282		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	不燃・その他(鉛蓄電池)	B	10	D	A	0.5 m ²	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有 0.07 mSv/h
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				
メ モ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0100
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月9日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃・その他(鉛蓄電池)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/9 9:50	0.7 m ²		FU-00388	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=10 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=10 μ Sv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D: 乾燥, W: 湿気有	③	履 歴	A: 「1F構内にあった物」, B: 「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015502 - 0022

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1FP 共用プール設備修理工事								
	発生場所	共用プール建屋 / B1FL / FPCポンプ室						2019/11/25	2019/11/25	2019/11/25
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	電離式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123		
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	シートパッキン	B	10	D	B	0.07 m ²	2 μSv/h	0.15 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h
2	金属ガラ(スプレー缶、空缶他)	B	01	D	B	0.15 m ²	2 μSv/h	3 μSv/h	無	
3	金属ガラ(ヘアリング)	B	01	D	B	0.07 m ²	2 μSv/h	3 μSv/h	無	
4	金属ガラ(メガシール)	B	01	D	B	0.03 m ²	2 μSv/h	0.07 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
5	金属ガラ(旧エレメント)	B	01	D	A	0.01 m ²	2 μSv/h	3 μSv/h	無	
注: α 有、β・α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0102
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	シートパッキン	5 μSv/h	80 μSv/h	150 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 11:10	0.05 m ²		ZK-02636	1
	2	1	金属ガラ(スプレー缶、空缶他) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/12 11:10	0.05 m ²			1
	3	1	金属ガラ(ヘアリング) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/12 11:10	0.05 m ²			1
	4	1	金属ガラ(メガシール)	5 μSv/h	60 μSv/h	100 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 11:10	0.05 m ²		ZK-02636	1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
No.1,4の物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=15 μSv/h, β + γ 線量率=15 μSv/h												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015502 - 0022

作業主 管 入 欄	保管希望日時	2019年12月12日		(木)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1FP 共用プール設備修理工事							
	発生場所	共用プール建屋 / B1FL / FPCホップ室					2019/11/25	2019/11/25	2019/11/25
	作業主管G	廃棄物設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	電離式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	難燃シート類	C 02	D B	0.5 m ²	2 μSv/h	0.08 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h	
2	紙、ウエス類	A 01	W B	0.3 m ²	2 μSv/h	0.12 mSv/h	β 有	0.15 mSv/h	
3	ビニール、プラスチック類	A 02	D B	0.3 m ²	2 μSv/h	5 μSv/h	無		
4	テープ、ラミネート類	A 04	D B	0.08 m ²	2 μSv/h	2 μSv/h	無		
5	布ベーパー	A 04	D B	0.01 m ²	2 μSv/h	0.15 mSv/h	無		
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※持ち込みで実施。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0103
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2		ICW	F1-ICW-393
3			
4			

保管実績 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		難燃シート類	5 μSv/h	10 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 11:15	0.5 m ²		ZK-02678	1
2	1		紙、ウエス類	5 μSv/h	10 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 11:15	0.3 m ²		ZK-02678	1
3	1		ビニール、プラスチック類	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/12 11:00	0.1 m ²			2
4	1		テープ、ラミネート類	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/12 11:00	0.01 m ²			2
6	1		ゴムパッキン	5 μSv/h	20 μSv/h	40 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 11:15	0.05 m ²		ZK-02678	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	No.1,2,6の物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=40 μSv/h, β + γ 線量率=40 μSv/h											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持ち込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	12	—	0103

[illegible]

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強工事								
	発生場所	K4タンク南側					2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0107
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月10日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/10 8:20	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/10 8:25	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0006

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	門型サポート電路補強工事								
	発生場所	K4タンク南側						2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26
	作業主管G	所内電源グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	3 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無		
	2				m ³					
	3				m ³					
	4				m ³					
	5				m ³					
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0108
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月10日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/10 8:30	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/10 8:35	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —		
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
			D 伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)							
		注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。							
注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。									
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月10日	(火)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強工事							
	発生場所	K4タンク南側			2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26		
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	3 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
	2				m ³				
	3				m ³				
	4				m ³				
5				m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0109
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/10 9:00	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/10 9:05	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0006

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日	(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強工事							
	発生場所	K4タンク南側			2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26		
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号		
						F1-ICWβL-108			
No.	保管物名	※カテゴリ			測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③	物 量				
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0110
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月12日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/12 8:20	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/12 8:25	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0006

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強工事								
	発生場所	K4タンク南側					2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26	
	作業主管G	所内電源グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-108		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

受 付 番 号			
廃2019	—	12	— 0111
			2019/11/26
調整後保管日時	2019年12月12日		9:00
【保管時の指示事項等】			

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/12 8:40	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/12 8:45	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012912 - 0006

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	門型サポート電路補強工事								
	発生場所	K4タンク南側				2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26		
	作業主管G	所内電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/18	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICWβL-108		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
1	コンクリートガラ	B	02	D	A	3 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0112
				2019/11/26
調整後保管日時		2019年12月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/12 9:10	2 m ³			1
	1	2	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/12 9:15	2 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0207

作業 主 管 欄	保管希望日時	2019年12月9日		(月)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	水処理設備スラッジ等処理業務委託(H30)								
	発生場所	プロセス主建屋						2019/11/26	2019/11/26	2019/11/26
	作業主管G	処理設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/25	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-99	
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	可燃物(プラスチック・ポリ・ビニル類)	A	02	W	B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.3 mSv/h	β有	0.4 mSv/h
2	可燃物(ウエス・紙類)	A	02	W	B	1 m ³	0.01 mSv/h	0.3 mSv/h	β有	0.4 mSv/h
3	難燃シート類	C	02	W	B	2 m ³	0.01 mSv/h	0.3 mSv/h	β有	0.4 mSv/h
4						m ³				
5						m ³				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。
・6m3コンテナへ充填済

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0115
				2019/11/27
調整後保管日時		2019年12月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02744)	5 μSv/h	100 μSv/h	100 μSv/h	エリアW1	2019/12/9 10:30	6 m ³		ZK-02744	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品は6m3コンテナ1基に収納。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニル類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニル類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0008

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月9日	(月)	11:00	承認	審査	作成				
	作業件名	建築水対策工事									
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)			2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27				
	作業主管G	建築水対策グループ		監理員	TEL						
	元請会社			担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/11/21	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-ICW-282				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	不燃・その他(6m3コンテナFU-00068)	B	10	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.3 mSv/h	β 有	1.3 mSv/h
	2	不燃・その他(6m3コンテナZK-02753)	B	10	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.06 mSv/h	β 有	0.31 mSv/h
	3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02857)	B	10	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	4	不燃・石綿含有物(6m3コンテナZK-02722)	B	07	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.07 mSv/h	β 有	0.09 mSv/h
	5	不燃・石綿含有物(6m3コンテナZK-02705)	B	10	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
メ モ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0116
				2019/11/27
調整後保管日時		2019年12月9日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00068)	5 μ Sv/h	300 μ Sv/h	300 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/9 10:20	6 m ³		FU-00068	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02753)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/9 10:20	6 m ³		ZK-02753	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02857)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/9 10:20	6 m ³		ZK-02857	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02722)	5 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/9 10:20	6 m ³		ZK-02722	1
	5	1	6m3コンテナ(ZK-02705)	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/9 10:20	6 m ³		ZK-02705	1
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013213 - 0008	
作業主管理	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	建築水対策工事									
	発生場所	1-4号機出入管理所建屋(GI-22)					2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27		
	作業主管G	建築水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
線量測定	線量測定年月日	2019/11/16		測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-282
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	可燃・その他(6m3コンテナFU-00072)	A	04	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.07 mSv/h
	2	可燃・その他(6m3コンテナZK-02783)	A	04	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
入 欄	3	可燃・その他(6m3コンテナFU-00163)	A	04	D	A	4 m ³	0.05 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.09 mSv/h
	4						m ³				
	5						m ³				
	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

線量測定内容			
測定日	2019年12月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
2	1	6m3コンテナ(ZK-02783)	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/10 9:20	6 m ³		ZK-02783	1	
3	1	6m3コンテナ(FU-00163G)	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/10 9:20	6 m ³		FU-00163G	1	
								m ³				
								m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
②	B 不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
③	D 伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015503 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	5, 6G 屋外電気設備修理工事(H31年度)							
	発生場所	M/C 5E建屋 電源車駐車場					2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27
	作業主管G	電気機器グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/15	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWL-131	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	紙・ウエス類	A 01	D A	0.3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D A	0.3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	3	可燃物その他(フレコンバック)	A 04	D A	0.3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	4	木材類	A 03	D A	0.3 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	無	
	5				m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0150
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月10日 10:00		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 10:00	0.5 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 10:00	0.1 m ²			1
	3	1	可燃物その他(フレコンバック)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 10:00	0.02 m ²			1
	4	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 10:00	0.2 m ²			1
								m ²				
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013706 - 0025

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月11日	(水)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-2号機 廃棄物処理建屋内滞留残水排水設備設置							
	発生場所	2号機 Rw/B			2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27		
	作業主管G	地下水対策グループ		監理員		TEL			
	元請会社			担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/26	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-24		
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ	B 02	D A	5 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	2				m ³				
	3				m ³				
	4				m ³				
5				m ³					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 固体廃棄物管理G殿打合せ済 P2保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0152
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月11日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	5 μSv/h	30 μSv/h	80 μSv/h	エリアP2	2019/12/11 10:35	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記物品はシート養生にて保管。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0024

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H4北エリア仮堰設置・撤去業務委託								
	発生場所	H4エリア					2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/5	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	223		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ	B	01	D	B	3 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	不燃物その他	B	10	D	B	2 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0153
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月10日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/10 9:40	0.5 m ³			1
	2	1	不燃物その他②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/10 9:40	0.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0075

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	移送配管リート工事関連								
	発生場所	G1タンクエリア						2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/25	測定者		測定器名	GMAD		管理番号	F1-GMAD-194	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	ビニール	A 02	D B	0.3 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	2	可燃物ダンボール・ウエス類	A 01	W B	0.9 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	3	鉄くず	B 10	D B	0.4 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	4	発泡スチロール(保温用)	A 02	D B	0.2 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
	5	難燃シート	C 02	D B	0.3 m ²	0.001 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
メモ	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0154
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月10日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICW	F1-ICW-376
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 11:00	0.1 m ²			1
	2	1	可燃物ダンボール・ウエス類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 11:00	0.3 m ²			1
	3	1	鉄くず ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/10 10:20	0.2 m ²			2
	4	1	発泡スチロール(保温用)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 11:00	0.1 m ²			1
	5	1	難燃シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2019/12/10 11:00	0.05 m ²			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C 難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	②	D 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	04 —	05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0045

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月11日		(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-2,3 T/Bダスト対策工事									
	発生場所	4号機R/B1FL/ブドス主建屋1FL					2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	6m3コンテナ(2019FU-00147)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	2	6m3コンテナ(2019FU-00242G)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	3						m ³				
4						m ³					
5						m ³					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0155
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月11日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00147)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/11 8:40	6 m ³		FU-00147	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00242G)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/11 8:40	6 m ³		FU-00242G	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0045

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月11日		(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F-2,3 T/Bダスト対策工事									
	発生場所	4号機R/B1FL/ブldgs主建屋1FL					2019/11/27	2019/11/27	2019/11/27		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-127		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	6m3コンテナ(2019FU-00268G)	B	01	D	A	8 m³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	2	6m3コンテナ(2019ZK-02743)	B	02	D	A	8 m³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	3						m³				
	4						m³				
	5						m³				
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0156
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月11日 11:00		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00268G)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/11 10:00	6 m³		FU-00268G	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02743)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/11 10:00	6 m³		ZK-02743	1
									m³			
									m³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013112 - 0002		固体廃棄物管理G記入欄		受付		
作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年12月12日		(木)		8:00		承認		審査		作成		受付番号	
	作業件名		G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所		フランジタンク解体部材一時保管施設2テント								2019/11/28		2019/11/27		2019/11/27	
	作業主管G		貯留設備土木グループ								監理員		TEL			
	元請会社										担当者		TEL			
	線量測定年月日		2019/11/19		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-ICWBL-115	
	No.		保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率	
	1		6m3コンテナ(2019 NS-00290)		B 04 D B		6 m ³		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		β 有		0.02 mSv/h	
	2		6m3コンテナ(2019 NS-00308)		B 04 D B		6 m ³		0.002 mSv/h		0.002 mSv/h		β 有		0.18 mSv/h	
	3						m ³									
4						m ³										
5						m ³										
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。																

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(NS-00290)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 9:00	6 m ³		NS-00290	1
	2	1	6m3コンテナ(NS-00308)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 9:00	6 m ³		NS-00308	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —					
①	B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		
			06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		
			11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 —		15 —		
	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		
D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —			
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。													
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。													

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028	
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2 Tent					2019/11/28	2019/11/27	2019/11/27		
	作業主管 G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/19	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-115			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	6m3コンテナ(2019 NS-00363)	B	04	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
	2	6m3コンテナ(2019 NS-00317)	B	04	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	3						m ³				
4						m ³					
5						m ³					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
廃2019	—	12	—	0158	2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月12日		10:00	
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
2	1	6m3コンテナ(NS-00317)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/12 9:40	6 m ³		NS-00317	1	
								m ³				
								m ³				
								m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	10	不燃物その他
		06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	—		
		11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2 Tent					2019/11/28	2019/11/27	2019/11/27	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/10/30	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-115		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	6m3コンテナ(2019 ZK-02277)	A	02	D	B	6 m ³	0.001 mSv/h	< 0.02 mSv/h	β 有	9.2 mSv/h
2	6m3コンテナ(2019 ZK-02264)	C	02	D	B	6 m ³	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.06 mSv/h
3	6m3コンテナ(2019 ZK-02269)	C	04	D	B	6 m ³	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.02 mSv/h
4	6m3コンテナ(2019 ZK-02247)	C	04	D	B	6 m ³	0.001 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	0.02 mSv/h
5						m ³				

注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0159
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1	6m3コンテナ(ZK-02277)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/13 9:10	6 m ³			ZK-02277	1
2	1	6m3コンテナ(ZK-02264)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/13 9:10	6 m ³			ZK-02264	1
3	1	6m3コンテナ(ZK-02269)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/13 9:10	6 m ³			ZK-02269	1
4	1	6m3コンテナ(ZK-02247)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/13 9:10	6 m ³			ZK-02247	1
								m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	フランジタンク解体部材一時保管施設2テント					2019/11/28	2019/11/27	2019/11/27	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/11/7	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-115		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	6m3コンテナ(2019 NS-00166)	B	02	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有	10 mSv/h
2	6m3コンテナ(2019 NS-00168)	B	02	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	25 mSv/h
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				

注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0160
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(NS-00166)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/13 9:40	6 m ³		NS-00166	1
	2	1	6m3コンテナ(NS-00168)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/12/13 9:40	6 m ³		NS-00168	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日		(木)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	H6タンクエリア					2019/11/28	2019/11/28	2019/11/28
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/27	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	不燃物(コンクリートガラ)	B	02	W	B	5 m ³	20 μSv/h	30 μSv/h	無
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			
自社運搬									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0161
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月12日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/12 8:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴			
						A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこど。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0162
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年12月12日		(木)	10:30		承認	審査	作成
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	H6タンクエリア						2019/11/28	2019/11/28
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL		
	元請会社					担当者	TEL		
	線量測定年月日	2019/11/27	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14	

No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
1	不燃物(コンクリートガラ)	B	02	W	B	5 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	
2						m ³			
3						m ³			
4						m ³			
5						m ³			

メ
モ
自社運搬

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/12 9:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年12月13日	(金)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア			2019/11/28	2019/11/28	2019/11/28			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/27	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号			
							1F-ICWBL-14			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	不燃物(金属ガラ)	B	01	W	B	5 m ³	20 μ Sv/h	30 μ Sv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
自社運搬										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0163
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/13 8:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0164
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H6タンクエリア					2019/11/28	2019/11/28	2019/11/28	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員					
	元請会社				担当者					
	線量測定年月日	2019/11/27	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	不燃物(コンクリートガラ)			① B ② W ③ B	5 m³	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2					m³				
	3					m³				
4					m³					
5					m³					
自社運搬										

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/12/13 8:50	5 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

計上No.	6013213	-	0008
-------	---------	---	------

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日			(木)	10:30			承認		審査		作成				
	作業件名	建築水対策工事															
	発生場所	1・4号機出入管理所建屋(GI-22)								2019/11/28		2019/11/28		2019/11/28			
	作業主管G	建築水対策グループ					監理員				TEL						
	元請会社						担当者				TEL						
	線量測定年月日	2019/11/27		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-282			
	No.	保管物名			※カテゴリ			物量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③												
	1	不燃・その他(6m3コンテナZK-02844)	B	10	D	A	4	m ³	0.05	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.07	mSv/h		
	2	不燃・その他(6m3コンテナZK-02860)	B	10	D	A	4	m ³	0.05	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.07	mSv/h		
	3	不燃・その他(6m3コンテナZK-02861)	B	10	D	A	4	m ³	0.05	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.07	mSv/h		
	4	不燃・その他(6m3コンテナZK-02872)	B	10	D	A	4	m ³	0.05	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.06	mSv/h		
	5	不燃・その他(6m3コンテナZK-02873)	B	10	D	A	4	m ³	0.05	mSv/h	0.05	mSv/h	β 有	0.06	mSv/h		
注: β 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。																	

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
廃2019	—	12	—	0169	
調整後保管日時				2019年12月12日	2019/11/28 10:30
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2019年12月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h						
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02844)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/12/12 9:50	6 m ³		ZK-02844	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02860)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/12/12 9:50	6 m ³		ZK-02860	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02861)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/12/12 9:50	6 m ³		ZK-02861	1
	4	1	6m3コンテナ(ZK-02872)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/12/12 9:50	6 m ³		ZK-02872	1
	5	1	6m3コンテナ(ZK-02873)	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアW1	2019/12/12 9:50	6 m ³		ZK-02873	1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013104 - 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0170
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月13日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-376
2			
3			
4			

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1~4号機建屋接続トレンチほか閉塞工事								
	発生場所	5,6号機北側ピット				2019/11/28	2019/11/28	2019/11/28		
	作業主管G	トレンチ対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/27	測定者		測定器名	ICW				
					管理番号	F1-ICW-336				
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	金属ガラ			① B 01 ② D ③ B	5 m³	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
	2					m³				
3					m³					
4					m³					
5					m³					

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	20 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/13 8:00	6 m³			1
									m³			
									m³			
									m³			
									m³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013705 - 0052

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年12月13日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F HTI建屋滞留残水排水設備設置								
	発生場所	4号機タービン建屋他					2019/11/28	2019/11/28	2019/11/28	
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/11/28	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-130		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	金属ガラ(2019ZK-02399)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	1 mSv/h
2	金属ガラ(2019ZK-02618)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	2 mSv/h
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
No. 1,2は借用6m3コンテナにて廃棄、本票でコンテナ2台分の申請とする。外面 No1-0.05mSv/h No2-0.02mSv/h										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0176
				2019/11/28
調整後保管日時		2019年12月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02399)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/13 10:20	6 m ³		ZK-02399	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02618)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/12/13 10:20	6 m ³		ZK-02618	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012911 - 0014

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月12日	(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F 土捨て場南側新設廃棄物施設向け接地幹線新設工事								
	発生場所	土捨て場南側エリア(将来増設の大型廃棄物保管庫建屋東側道路沿い)			2019/11/28	2019/11/28	2019/11/28			
	作業主管G	設備電源グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/11/28	測定者		測定器名	ICW	管理番号	ICW-181		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	不燃物(アスファルトガラ)	B	09	D	A	4 m ³	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	12	—	0184
				2019/11/29
調整後保管日時		2019年12月12日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-376	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/12/12 8:00	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0033

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月10日		(火)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収設備他点検修理工事								
	発生場所	B,C排水路						2019/11/29	2019/11/29	2019/11/28
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/22	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-123		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	保温材	B	06	D	A	2 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0186
				2019/11/29
調整後保管日時		2019年12月10日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年12月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材 ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/10 8:00	2 m ²			1
	2	1	金属ガラ ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/12/10 8:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6015503 - 0003

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年12月11日		(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5. 6G 屋外電気設備修理工事(H31年度)								
	発生場所	5、6号機建屋内						2019/11/27	2019/11/27	2019/11/26
	作業主管G	電気機器グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/11/25	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	1F-ICWBL-127		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	継電器(Ry)	B	03	D	A	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	可燃物(段ボール、テープ芯)	A	01	D	A	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	可燃物(ビニールテープ等)	A	02	D	A	0.1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	12	—	0189
				2019/12/2
調整後保管日時		2019年12月11日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年12月11日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	継電器(Ry) ②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/12/11 10:15	0.1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。